

発見したまちの魅力や歩いた  
コース

山々を望み四季を感じるコース

四季の癒し 市内一大きい 野多目大池  
ゆくり通こせる 古野新池

水鳥に間く大池・史跡コース

①若久池 ②佐波木 ③やよい坂公園 ④アサヒ ⑤コサキ ⑥住宅街の静かなりの柿 ⑦大橋 ⑧パークレインやよい坂 ⑨柏原公園の桜 ⑩柏原公園からの眺望 ⑪池田南公園のしだれ桜 ⑫老司大池の桜 ⑬ホチアライ ⑭老司大池に虹 ⑮コサキ ⑯花壇の風景 ⑰入キ

①若久池 ②佐波木 ③やよい坂公園 ④アサヒ ⑤コサキ ⑥住宅街の静かなりの柿 ⑦大橋 ⑧パークレインやよい坂 ⑨柏原公園の桜 ⑩柏原公園からの眺望 ⑪池田南公園のしだれ桜 ⑫老司大池の桜 ⑬ホチアライ ⑭老司大池に虹 ⑮コサキ ⑯花壇の風景 ⑰入キ

①若久池 ②佐波木 ③やよい坂公園 ④アサヒ ⑤コサキ ⑥住宅街の静かなりの柿 ⑦大橋 ⑧パークレインやよい坂 ⑨柏原公園の桜 ⑩柏原公園からの眺望 ⑪池田南公園のしだれ桜 ⑫老司大池の桜 ⑬ホチアライ ⑭老司大池に虹 ⑮コサキ ⑯花壇の風景 ⑰入キ

### 「ため池散策ルートマップ」活用にあたって

新たな魅力を発見しよう！

ルートを歩きながら、水鳥などの生き物を観察したり、桜並木などの季節が感じられる場所、神社などの歴史的な場所、景色がきれいな場所などを散策して、新たな魅力を発見してください。

自分だけのマップを作ろう！

新たな魅力を発見したら、コース毎のマップに感想やみつけた場所をどんどん記入し、自分だけのマップを作ってください。

違いを楽しもう！

このマップは、平成17年の秋に街歩きをして、出てきた意見をもとに作成しています。このため、春、夏、冬では、また違った魅力が発見できると思います。季節の違いや1人1人の感じ方の違いを楽しみながら歩いてください。

### 「ため池散策ルートマップ」作成にあたって

「ため池散策ルートマップ」は、南区にお住まいの方の参加による「水辺を歩いて魅力発見！ワークショップ【ため池編】」を開催し、住民の皆さんの意見をもとに作成しました。

ワークショップでは、住民のみなさんが日頃から感じられている「ため池」や「まち」の魅力について、意見を交換してもらい、実際にまちを歩いてもらい、新たな発見しながら、「野多目大池」、「老司大池」、「箱の池」、「古野新池」などを組み合わせて、3つの散策ルートを考えました。



### 箱の池と整理池

ため池面積 57,748㎡	ため池面積 21,049㎡
ため池周囲 約1,200m	ため池周囲 約800m
9ヶヶ0-1	980m

箱の池のヒドリガモ

レイクタウン屋形原

### 老司大池

ため池面積 64,012㎡ ため池周囲 約1,500m

老司大池・マリア像・松林

コイとりの風景

### 古野新池と若久池

ため池面積 24,062㎡	ため池面積 22,823㎡
ため池周囲 約900m	ため池周囲 約700m

若久池のハゼの紅葉

小学校的の桜

古野新池

### 野多目大池

ため池面積 85,891㎡ ため池周囲 約1,500m

オレンジ色の歩道

2種類のスキセータカアワガチソウ

野多目大池

ため池をめぐって  
南区の魅力にふれてみよう

## ため池むすび 魅力めぐり

マカモ

冬鳥として、湖沼、河川、海岸に飛来する。雌雄ともに足は橙色、尾は白、雄はくちばしが淡い黄色。低い声で「アア」とか「ワツ」と鳴く。マカモを家禽として改良したのがアヒルである。

ヒドリガモ

湖沼、河川、湾に飛来する。くちばしは灰色で先が黒。雌は他のカモよりも赤味がある。腹ははっきりと白。雄は、ピューと笛のような強い声で鳴く。夜もよく鳴く。

水辺の鳥

ため池にはたくさんの水鳥が集まっており、私たちの目を楽しませてくれます。

水辺を泳ぐ鳥や水辺を歩く鳥、水辺を飛び回っている鳥などたくさんいます。よく見かける鳥を紹介しましょう。探してみてください。

アオサギ

九州以北の林で繁殖し、各地の水辺で見られる。正面は白くみえるが、横、後ろからは灰色にみえる。立ったまま翼を半開きにし、日光浴をする。

コサギ

カラスほどの大きさであり、白いサギでは小型。活発に歩き、浅い水辺では足をふるわせるようにして魚をとる。くちばしは黒く、足の指は黄色。

参考：野鳥ハンドブック 新水鳥の巻(財)日本野鳥の会

### ため池にまつわる逸話

雨乞い(鶴田林原周辺)

昭和8年の夏、まれにみる干ばつにみまわれ、屋形原、鶴田、中尾周辺の池の水が底をついてしまいました。このため、雨乞いをする事になり、大分県由布市(旧湯布院町)にある山下湖の中ノ島の湧水をもらって来ることになりました。この山下湖は、水飢饉の時、他地区の人でもその湧水を持ち帰り、干上がった池に流し込めばたちどころに、雨に恵まれる」といった言い伝えがありました。水をもたらしに行く使者は、故人となられた久我藤十郎さんと兼田茂重郎さんでした。二人は樽を自転車にくくりつけ、片道十数時間かけて水をもらい、持ち帰ってきました。その水をすべての池に分配して流し込み、最後の池に水を流し終えたとき、今まで曇一つなかった空がたちまち黒雲に覆われてもすこい雨が降りだし、みるみる池の水かさが増したそうです。この逸話は久我藤十郎さんの体験談として伝えられています。

箱の池

箱の池の水は、柏原地区と屋形原地区の農業用水であり、昔はこれをめぐり両地区で争いが絶えず、そのため、昔は池の所有面積が少ない屋形原側が米一俵と酒五升を柏原側に贈る習わしがあったそうです。戦後はそれが現金一万円に変わり、やがて水田の減少とともに、この風習も姿を消したそうです。

昔のため池は、農地が減少した今と比べて、貴重な水資源として存在していたため、ため池にまつわる逸話では、水の大切さが突如できる話が多く残っています。

九州以北の林で繁殖し、各地の水辺で見られる。正面は白くみえるが、横、後ろからは灰色にみえる。立ったまま翼を半開きにし、日光浴をする。

カラスほどの大きさであり、白いサギでは小型。活発に歩き、浅い水辺では足をふるわせるようにして魚をとる。くちばしは黒く、足の指は黄色。

水辺を泳ぐ鳥や水辺を歩く鳥、水辺を飛び回っている鳥などたくさんいます。よく見かける鳥を紹介しましょう。探してみてください。

水辺を泳ぐ鳥や水辺を歩く鳥、水辺を飛び回っている鳥などたくさんいます。よく見かける鳥を紹介しましょう。探してみてください。